

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市立南小学校幹線移設工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市立南小学校の敷地内です。
本施設は、工事期間中も通常業務を行っております。

2 別途工事

・福山市立南小学校屋外倉庫他新設工事

3 留意事項

- (1) 工事に当たっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事期間中も教育施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、児童及び第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。
- (3) 作業時間は原則午前8時から午後5時までとし、通学時間帯を考慮してください。
- (4) 工事の車両等の進入・退出・停車等に当たっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (5) 資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。
- (6) 道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路に係る維持管理（舗装・構造物等の保護養生、補修等）は、受注者で行ってください。
- (7) 工事場所外においても、駐車違反、速度制限、積載制限等交通法規を遵守し、事故防止に万全を期してください。
- (8) 工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (9) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (10) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (11) 工事で既存建築物等に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (12) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (13) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。
- (14) 工事施工に必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
- (15) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (16) 現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、あらかじめ施設管理者と協議の上、決定してください。また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。

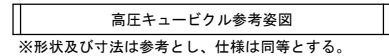
福山市立南小学校幹線移設工事

図 面 リ ス ト					
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E-1	電気設備工事特記仕様書	——			
E-2	受変電設備 高圧単結線図	——			
E-3	付近見取図・配置図（移設前）	1:300			
E-4	電気設備平面詳細図(改修前・改修後)	1:100			
E-5	付近見取図・配置図（移設後）	1:300			

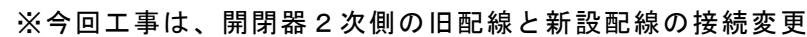
福山市保健福祉局ネウボラ推進部保育施設課

 福山市保健福祉局 ネウボラ推進部保育施設課				
主務	課員	施設担当	次長	施設管理 担当
				保育施設 担当
				部長

福 山 市 電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書			一 般 共 通 事 項		Ⅰ 工事概要		Ⅱ 工事種目		Ⅲ 電気設備工事仕様																																																			
1 工事名称 福山市立南小学校幹線移設工事 2 工事場所 福山市明治町4番1号 3 用途地域 商業地域 4 防火地域 ○準防火地域 ・指定なし 5 工事種別 ・新築 ・増築 ・改築 ○改修 6 敷地面積 13,852.00㎡ 7 建物概要 1) 構造 2) 面積 延べ面積 ㎡ 3) 付属施設			⑧ 工事及び完成写真 ⑨ 完成時の提出図書 ⑩ 別契約の関連工事との調整 ⑪ 施工中の安全確保 ⑫ 情報共有システム ⑬ 電 線 類 ⑭ 導 入 線 ⑮ ねじなし電線管の使用 ⑯ 屋上スラブ配管 ⑰ 他 ⑱ 合成分電盤 ⑲ 防火区画の貫通処理及び予備配管施工 ⑳ プレート材の材質 ㉑ カバープレートの表示 ㉒ ハンドホール ㉓ 鋼管柱・外灯ポール埋設標示等 ㉔ 埋設深さ ㉕ 接地工事 ㉖ 地中配線 ㉗ 結露防止 ㉘ 耐震施工 ㉙ 分電盤・配電盤 ㉚ 塗装		※ 本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。 建設大臣官房庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂第2版）―建築設備編―」によるほか特記がない場合は、以下による。 <table><thead><tr><th>分 類</th><th>規 格</th><th>撮影枚数</th><th>提出部数</th></tr></thead><tbody><tr><td>施 工 前</td><td>Ｌ版程度（カラー）</td><td>必要に応じた数</td><td>1</td></tr><tr><td>施 工 中</td><td>Ｌ版程度（カラー）</td><td>必要に応じた数</td><td>1</td></tr><tr><td>施 工 後</td><td>Ｌ版程度（カラー）</td><td>必要に応じた数</td><td>1</td></tr><tr><td>完 成</td><td>Ｌ版程度（カラー）</td><td>各室4面</td><td>1</td></tr></tbody></table> ※完成写真は、写真帳（A4版）を検査後すみやかに提出する。 ・原版の提出 ・する（ ・完成時のみ ・全て ） ○しない 完成後は速やかに次の図書を提出する。 ○竣工図（○完成図 ○承諾図 ・施工図 ・ ） ・ A3版を2折りにして製本 （ 3 ）部 ○竣工図電子データ（施工図含む） 一式 （「竣工図電子データ作成要領」による。） ○安全に関する資料（設備機器類及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書等） ※その他電子データ等の提出形状及び方法は、監督員の指示による。 ・別記工事区分表による。 ※契約書に基づく関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。 ・建築工事に伴う足場及び安全仮囲いは、無償にて使用できる。 ○同一場所にて別契約の関連工事等が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する。 ・労働安全衛生法第15条に基づく統括安全衛生責任者を選任したときは、本契約直後に「統括安全衛生責任者選任届出書」（任意書式）を提出すること。 ・本工事は、交通誘導員として 人を見込んでいる。交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い、監督員に提出する。 受注者は、次表に従い、工事実績情報システム（CORINS）へ登録する。 登録内容について、あらかじめ監督員の確認を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。 <table><thead><tr><th>請求金額</th><th>工事受注時</th><th>登録内容の変更時</th><th>工事完成時</th></tr></thead><tbody><tr><td>500万円以上</td><td>契約後10日以内</td><td>変更契約後10日以内</td><td>工事完成後10日以内</td></tr></tbody></table> 変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行う（請求代金のみ変更の場合、登録不要） ※登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。 なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる（登録要） 本工事は、インターネットを利用して、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。 本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い利用料を支払うものとする。 運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）」及び「情報共有システム利用手引（建築工事）」によるものとする。 ・ 発注者指定型 共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいる。 受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができる。 ○ 受注者希望型（契約時の請求金額が500万円以上のものに限る） 工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいない。 本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出て、本システムを利用するものとする。 その場合の請求金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通仮設費に見込めるとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。 特記以外はEM電線・ケーブルを使用する。ケーブルラック・ポール等へ電線類を結束する場合は、綿紐・ビニール被覆パイプ線などを使用する。 長さ1m以上の導線を行わない配管には、1.2mm以上の導線（樹脂被覆鉄線等）を挿入する。 薄鋼電線管を使用することになっている部分は、同一外径のねじなし電線管を使用してもよい。（ただし、屋外配管布設時はねじなし電線管を使用しない。） 溶融亜鉛めっき電線管の接続は防水ねじしカップリングとする。 屋上スラブ内配管は、行わない。（天井のない部分は別途協議する。） スラブ厚の1/4を超える外径の配管（31を超えるもの）は、打込みをさせる。 壁まわりの配管相互は、30mm以上離し整然と配列する。 特記なき場合は、PFS（PF1重）とする。 ・防火区画の貫通部の処理は、建築基準法に適合する工法とする。 ・天井内の区画壁には、貫通する予備配管（31）を2本設置する。 ・ステンレス製 ・樹脂製 ・新金属 ・その他（ ） 動力 ○ 電 灯 ○ 電 話 ○ 電気時計 ○ インターホン ○ 放送 ○ テレビ共聴 ○ 防犯 ○ 自火報 ○ OA ○ 印シールを貼る。 構造は完全防水型とし、蓋にゴムパッキンをはめ、4ヶ所をステンレスボルトで締付けの構造とする。ハンドホール内の行先表示板はアクリルプレート掘り込み文字とする。 蓋の記号表記（・鋳造流込み ・電力 ・電気 ・電話 ・弱電） 既設ハンドホールの作業時は清掃、水抜きを行う。 発錆防止のため、コンクリート根巻きを行う。 接地標示板 ○黄銅板製 ○ステンレス板製 標示柱（○鉄鉄ダクト立打柱 ・コンクリート柱 ・キャッツアイ） 標識シート（Wシート150mm）（・高圧6600V ○低圧 ・その他） 特記なき場合は、G L-600以上、錆蝕のある場合は路盤下-600以上とする。 A種接地、B種接地、C種接地工事の接地極は、特記なき場合銅板とする。 地中配線はハンドホール内で余長を取り（1m程度）回路表示を行う。 外気に面する壁、スラブ等で打込みとなる位置ボックスは、保温、結露防止処理を行う。 設備機器の固定は、建設大臣官房庁営繕部監修 官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成8年版）及び建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）による。 建物の種別 ・特定の施設 ・一般の施設 重要機器（ ・配電盤 ・発電設備 ・交換機 ・直流電源装置 ・UPS装置 ・火災報知受信機 ・中央監視装置 ・変圧器 ） 分電盤各回路の名称記入は刻印又はタイプ打ちとし、図面ホルダーを取付、回路図面を挿入する。 配線用遮断器の遮断容量は、次の値以上とする。 主遮断器の遮断容量は5kA以上とし、分岐用遮断器は、主遮断器ブレーム容量が50AF以下の場合2.5kA以上とし、50AFを超える場合は5kA以上とする。ただし、改修工事等の場合は特記による。 チャンネルベースに用いる鉄板厚は3.2mm以上とし、亜鉛めっき処理とする。 色彩の決定については監督員の指示による。 <table><thead><tr><th>位置ボックス類</th><th>内面</th><th>調査ポイント</th><th>絶縁フラス</th><th>1回塗り</th></tr></thead><tbody><tr><td>配 管 類</td><td>露出</td><td>調査ポイント</td><td></td><td>2回塗り以上</td></tr><tr><td>配 管 類</td><td>露出</td><td>調査ポイント</td><td></td><td>2回塗り以上</td></tr><tr><td>支 持 金 具</td><td>露出</td><td>さび止め・調査ポイント</td><td></td><td>各2回塗り以上</td></tr></tbody></table> ・露出部品の塗装する部分（ ・居室廊下等 ・屋外 ・EPS内 ） なお取付、塗装後は、傷のつかないように十分養生する。 屋外部分の支持金物はステンレス製、又は溶融亜鉛めっき処理とし必要に応じ塗装する。 色彩の決定については監督員の指示による。		分 類	規 格	撮影枚数	提出部数	施 工 前	Ｌ版程度（カラー）	必要に応じた数	1	施 工 中	Ｌ版程度（カラー）	必要に応じた数	1	施 工 後	Ｌ版程度（カラー）	必要に応じた数	1	完 成	Ｌ版程度（カラー）	各室4面	1	請求金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時	500万円以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内	位置ボックス類	内面	調査ポイント	絶縁フラス	1回塗り	配 管 類	露出	調査ポイント		2回塗り以上	配 管 類	露出	調査ポイント		2回塗り以上	支 持 金 具	露出	さび止め・調査ポイント		各2回塗り以上	32 施工調査 33 そ の 他 ① 工事現場仮囲い ② 受注者事務所等 ③ 工 事 用 水 ④ 工 事 用 電 力 ⑤ 引渡しまでの光熱費 ① 電気方式 ② 施工方法 3 その他 2 1 電気方式 2 機器への接続等 3 電 灯 コンセント設備 1 電気方式 2 機器・器具類 1 照明器具 4 2 非常照明 3 誘導灯 4 照度測定 5 予備品等 5 1 工事範囲 2 受電部 3 避雷導体 4 接地極 5 仕様詳細 6 適用規格 1 電気方式 2 配電盤構造 3 主遮断装置 4 機器類 5 計器類 6 デマンド監視装置 7 盤内取付装置 8 仕様詳細 9 予備品 1 1 工事範囲 2 用途 3 蓄電池 4 仕様詳細 5 予備品 2 1 工事範囲 2 UPS 3 用途 4 出力電気方式 5 出力電圧 6 定格出力 7 蓄電池 8 予備品 1 1 工事範囲 2 発電方式 3 出力電気方式 4 出力電圧 5 機器能力 6 原動機出力 7 始動方式 8 構造 9 防油堤 10 燃料 11 仕様詳細 12 予備品 2 風圧荷重計算等は建築基準法によるが、設計指数は次の通りとする。 設計用基準風速 V_0 : 32m/s その他の係数は 風圧用途係数I: 1.16（通常1.0極めて重要な太陽光発電1.32） 地表面粗度区分: 1（極めて平坦で障害物がない場合の数値） 地上垂直積雪量Z_0: 0.3m（福山地区） 地震地域係数Z: 1.0（1.0-0.7） 地震用途係数Z: 1.25（通常1.0極めて重要な太陽光発電1.5） 仕様詳細は別図発電設備仕様（ / 図）による。		1 1 地中配線 2 架空配線 2 1 工事範囲 2 アウトレット 3 機器仕様詳細 3 1 工事範囲 2 電気時計 3 表示装置 4 仕様詳細 5 予備品 4 1 工事範囲 2 増幅器 3 スピーカ 5 1 工事範囲 2 誘導支援装置 3 仕様詳細 6 1 工事範囲 2 電源 3 型式 4 通話方式 5 機器仕様詳細 7 1 工事範囲 2 機器類 3 受信波 4 増幅器 5 電界強度測定 6 機器仕様詳細 7 その他 8 1 工事範囲 2 仕様詳細 3 予備品 9 1 工事範囲 2 検知器 3 仕様詳細 4 予備品 1 1 工事範囲 2 火災報知設備 3 受信機 4 運動制御装置 5 非常警報装置 6 その他消防設備 7 ガス漏れ警報装置 8 LPガス漏れ遮断設備 11 1 仕様詳細 2 2 工事範囲 1 1 工事範囲 2 監視方式 3 監視制御方式 4 交流無停電電源装置 5 仕様詳細 6 予備品 1 1 工事範囲 2 監視方式 3 監視制御方式 4 交流無停電電源装置 5 仕様詳細 6 予備品		・FEP ・HIVE ・その他（ ） 電柱（ ・遠心力鉄筋コンクリート柱 ・鋼管柱 ・ ） 支線（ ・要 ・不要 ） ・配管 ・配線 （ ・端子盤間ケーブル ・電話機用ケーブル ） ○機器取付（ ・端子盤 ・交換機 ・電話機 ○アクセスポイント ） ・ノズルプレート ・モジュラー ・2P ・4P ・ P ） ・別図電話設備仕様（ / 図）による。 ・配管 ・配線 ・機器等取付 親時計（ ・水晶式（時刻校正機構付） ・ ） ・壁掛型（ ）回線 ・キャビネット収容型（ ）回線 ・（ ）（ ）回線 ・時計型 ・壁掛型 ・壁埋込式 ・発光ダイオード式 ・マグネットユニット式 ・ブラズマ式 ・液晶式 ・別図情報表示設備仕様（ / 図）による。 予備品は製造者の標準品一式とする。 ・配管 ・配線 ・機器等取付 ・非常放送 局 W（ ・専用 ・業務用兼用 ） ・車上型 ・壁掛型 ・ラック収容型 ・デスク型（ ・片袖型 ・両袖型 ） ・壁掛型 W ・天井型 3W ・屋外ホーン型 W ・ W ・別図拡声設備仕様（ / 図）による。 ・配管 ・配線 ・機器等取付 ・音声誘導 ・身障者用インターホン ・トイイ呼出装置 ・別図誘導支援設備仕様（ / 図）による。 ・配管 ・配線 ・機器等取付 ・AC100V ・乾電池 ・親子型 ・相互式 ・戸用自火報式 ・テレビ（ ・有 ・無 ） ・同時通話式 ・交互通話式 ・別図インターホン設備仕様（ / 図）による。 ・配管 ・配線 ・機器等取付 ・一般用 ・共聴用 ・B.L優良住宅部品 ・NHK仕様適合品 ・UHF ・BS ・CS ・CATV ・U（ dB） ・BS（ dB） ・要（ ・受信レベル ・BER ・MER） ・不要 ・別図テレビ共聴設備仕様（ / 図）による。 分岐器、分配器、直列ユニット等はU・BS共用型とし、直列ユニットには75Ωのプラグを附属する。 ・4K・8K対応機器（周波数帯域3.224MHzに対応した機器）を使用する。 （増幅器、分配器、テレビ端子等） ・配管 ・配線 ・機器等取付 ・別図監視カメラ設備仕様（ / 図）による。 予備品は製造者の標準品一式とする。 ・配管 ・配線 ・機器等取付 ・光電式 ・ループコイル式 ・別図駐車管理制装置仕様（ / 図）による。 予備品は製造者の標準品一式とする。 ・配管 ・配線 ・機器等取付 ・単独型 ・複合型 ・自立型 ・壁掛型 火災報知設備受信機（ ）型（ ）級（ ）回線 ・副受信機（ ）回線 機能（ ・音響式 ・住戸型 ） 運動（ ・非常放送 ・消火栓 ・誘導灯 ・電気錠 ・光警報 ・ ） 送受話器（ ）台 警報区域一覧図（ ・アクリルエッチング ・カラーコピー ） 表示警報区域銘板は白地黒文字エッチングとする。（R印は除く。） 運動制御器（ ）回線（遠方復帰機構 ）回線（ ） 制御内容（ ・防火戸用 ・防火ダンパ用 ・防火シャッター用 ・防煙重れ壁用 ） ・一体型 ・複合装置型 ・非常通報設備 ・漏電火災警報設備 ・受信機（ ）回線（ ・LPガス用 ・都市ガス用 ） ・遮断弁制御器（ ）台 ・別図防犯設備仕様（ / 図）による。 ・別図入退室管理設備仕様（ / 図）による。 ・配管 ・配線 ・機器等取付	
分 類	規 格	撮影枚数	提出部数																																																									
施 工 前	Ｌ版程度（カラー）	必要に応じた数	1																																																									
施 工 中	Ｌ版程度（カラー）	必要に応じた数	1																																																									
施 工 後	Ｌ版程度（カラー）	必要に応じた数	1																																																									
完 成	Ｌ版程度（カラー）	各室4面	1																																																									
請求金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時																																																									
500万円以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内																																																									
位置ボックス類	内面	調査ポイント	絶縁フラス	1回塗り																																																								
配 管 類	露出	調査ポイント		2回塗り以上																																																								
配 管 類	露出	調査ポイント		2回塗り以上																																																								
支 持 金 具	露出	さび止め・調査ポイント		各2回塗り以上																																																								
工 事 名 称			福山市立南小学校幹線移設工事		縮尺		図番																																																					
特記仕様書			E-01																																																									
原 設 計 株 式 会 社			〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213		一級建築士事務所広島県知事登録第 17 (1) 0409号		一級建築士 甲斐 宣行																																																					



キュービクル仕様	
	屋 外 型
組 寸	L-50×50×L1
屋根板	2.0t SUS304
面 板	2.3t SPC
扉 板	2.3t SPC
内設板	2.3t SPC
底 板	2.3t SPC
チャンネルベース	100×50×5t 溶融亜鉛メッキ仕上げ
取 手	L型鍵付き R-200
塗 装	メラミン焼付けメーカー標準色塗装
備 考	耐震措置 (特定の施設・重要機器) 設置場所 屋上 設計用標準水平震度2.0
付 属 品	ディコン棒：長短格 1本 補修色 1缶 LBS用電力予備ヒューズ 100% その他回路用ヒューズ 100% 表示ラグ「ローグ」種類ごとに各表装数 ABC粉末消火器10型 1台 (屋外SUS製収納ボックス付) 含む
注 記	・JISC4620に適合すること ・製作図提出時には、耐震計算書、壁内温度上昇計算書、遮断協調曲線を添付すること ・トランスはトッランサー変圧器とすること ・変圧器には耐震ストッパ付防塵ゴムを取付ること ・その他の詳細については、承認図を提出の上、係員の指示に従い、製作する事とする ・キュービクル内の換気扇はサーモによる発停とすること ・消火ポンプ用耐熱配線遮断器容量はポンプ制御盤に合わせること ・「非常用電源専用受電設備」の標識を前面に設置すること ・キュービクル内で発報するブザー音については、設定によりON/OFF出来るようにすること



2025年 9月		主 務	課員	施設担当 次長	教育環境 整備担当 課長	保育施設 課長	保育施設 担当 部長	 原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213	一級建築士事務所広島県知事登録第 17 (1) 0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行
福山市保健福祉局 ネウボラ推進部保育施設課									

注 記

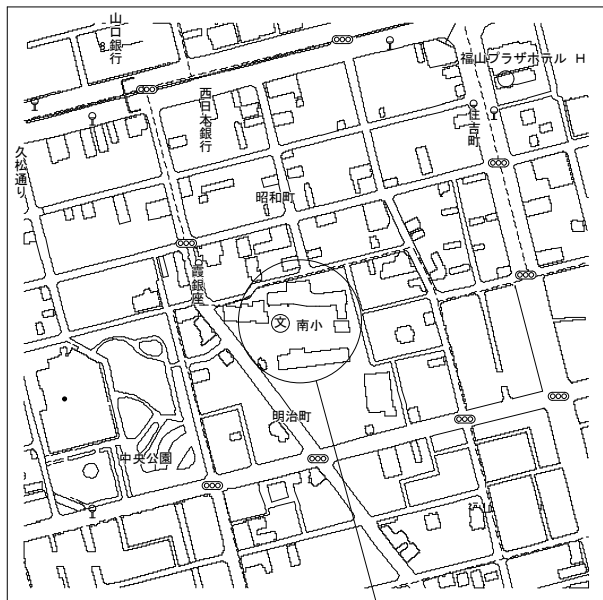
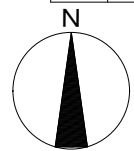
- 児童の移動が集中する時間帯（登下校時等）は重機、資材の搬入を避ける。
- 工事着手前に、仮設計画図、重機搬入設置図など提出物を出し監督員に承認を得て作業を行うこと。
- 設計図書に疑義を生じた場合は速やかに監督員と協議すること。
- 学校及び警備保障会社等の連絡を密にし、学校行事及び工事の進行に影響を及ぼさないように注意すること。
- 停電作業は事前に停電作業計画書を作成し市及び対象校と十分に協議し承認を得て行うこと。
- 切替え停電作業は休日とし、学校と調整をとり仮設電源が必要な場合は給電を施すこと。
- 工事による損傷は受注者の責任において復旧すること。

工 事 概 要

- 地中埋設は、電線・ケーブル撤去。FEP及びハンドホール残置とする。
- 別工事による埋設物撤去時に今回工事にてできるだけ干渉しないように配管等切断しておく事。

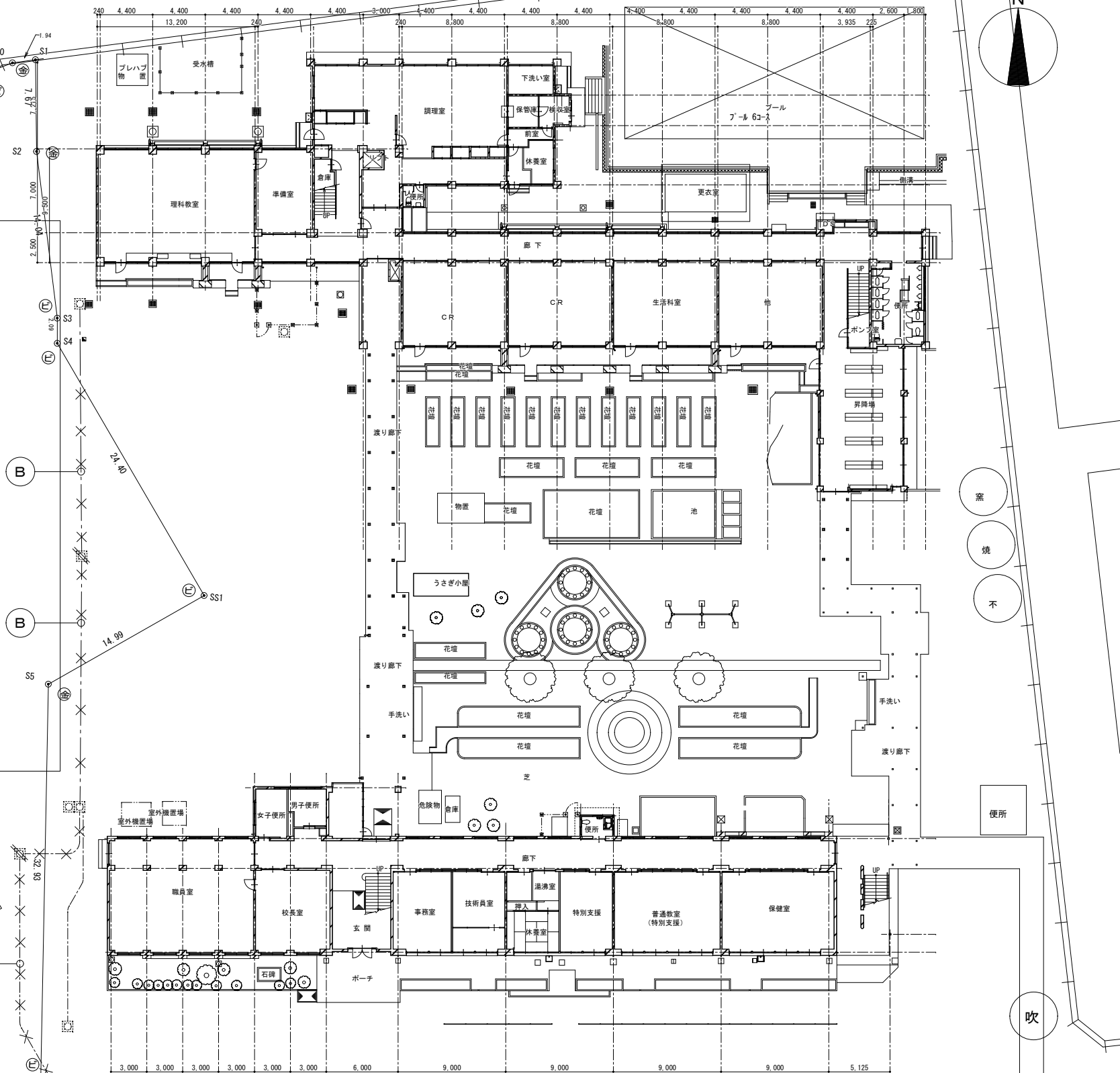
A	L1	北校舎	CET60°	FEP80
	L2	南校舎	CET60° E14°	FEP80
	L3	屋内運動場	CET60°	FEP80
	L4	ポンプ室	CE8° -3C	FEP50
	M1	空調動力	CET60°	FEP80
	M2	北棟校舎	CET60°	FEP80
	M3	ポンプ室	CE5.5° -3C	FEP50
	M4	屋内運動場	CET14°	FEP50
	M5	職員室	CET60°	FEP80
	M6	北棟消火P	FPC60° -3C	FEP80
B	M8	北S-1	CET22° E5.5° x2	FEP50
	M9	南S-1	CE5.5° -3C E2.0° x2	FEP50
	M10	給食棟動力	CET100°	FEP80
	K1	接地	EAD38° EB22° EELB5.5	FEP50
		警報	CEE2° -2C	FEP30
		予備配管	—	FEP80 x2

B	L1	北校舎（電灯1φ）	CVT60sq	FEP80
	L4	ポンプ室（電灯1φ）	CV8sq-3C	FEP50
	M1	空調電源（動力3φ）	CVT60sq	FEP80
	M2	北校舎（動力3φ）	CVT60sq	FEP80
	M3	ポンプ室（動力3φ）	CV5.5sq-3C	FEP50
	M6	北棟消火（動力3φ）	FPC60sq-3C	FEP80
	M8	北S-1（動力3φ）	CET22sq E1E5.5sq x2	FEP100
		予 備		FEP100



附近見取図

工事場所：福山市立南小学校
福山市明治町4番1号



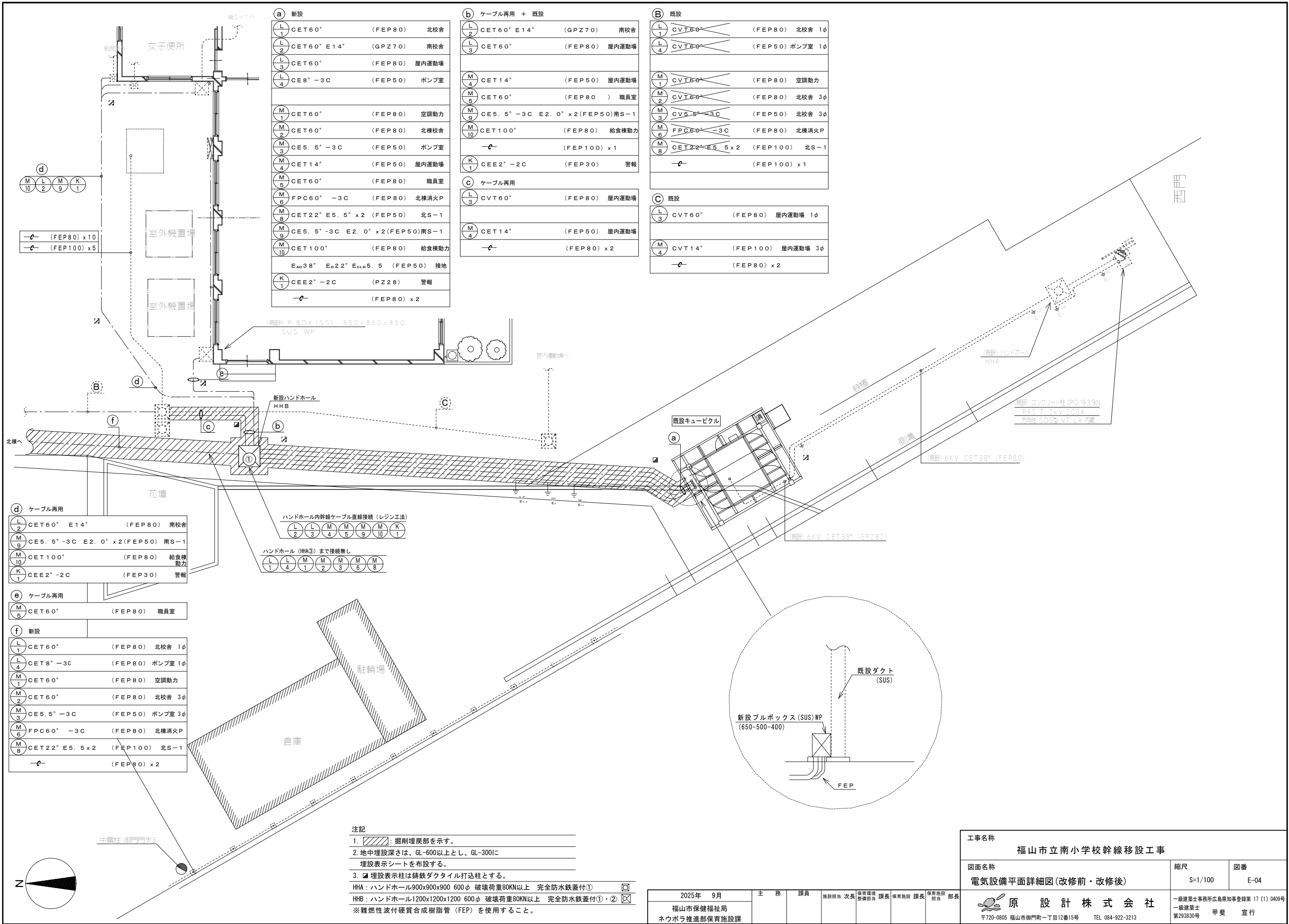
配置図 S=1/300

注記

- ✕ : 撤去を示す。

2025年 9月 福山市保健福祉局 ネウボラ推進部保育施設課	主 務 課 員 施設担当 次長 保育環境 整備担当 課長 保育施設 課長 保育施設 担当 部長	工事名称 福山市立南小学校幹線移設工事	図面名称 付近見取図・配置図（移設前）	縮尺 S=1/300	図番 E-03	一級建築士事務所広島県知事登録第 17 (1) 0409号 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行
--------------------------------------	--	------------------------	------------------------	---------------	------------	--

原 設 計 株 式 会 社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213



a 新設			
L1	CET60°	(FEP80)	北校舎
L2	CET60° E14°	(GPZ70)	南校舎
L3	CET60°	(FEP80)	屋内運動場
L4	CE8° -3C	(FEP50)	ポンプ室
M1	CET60°	(FEP80)	空調動力
M2	CET60°	(FEP80)	北棟校舎
M3	CE5. 5° -3C	(FEP50)	ポンプ室
M4	CET14°	(FEP50)	屋内運動場
M5	CET60°	(FEP80)	職員室
M6	FPC60° -3C	(FEP80)	北棟消火P
M8	CET22° E5. 5° x2	(FEP50)	北S-1
M9	CE5. 5° -3C E2. 0° x2	(FEP50)	南S-1
M10	CET100°	(FEP80)	給食棟動力
Ea38° Eb22° Ee5. 5 (FEP50) 接地			
K1	CEE2° -2C	(PZ28)	警報
-c- (FEP80) x2			

b ケーブル再用 + 既設			
L2	CET60° E14°	(GPZ70)	南校舎
L3	CET60°	(FEP80)	屋内運動場
M4	CET14°	(FEP50)	屋内運動場
M5	CET60°	(FEP80)	職員室
M9	CE5. 5° -3C E2. 0° x2	(FEP50)	南S-1
M10	CET100°	(FEP80)	給食棟動力
-c- (FEP100) x1			
K1	CEE2° -2C	(FEP30)	警報
c ケーブル再用			
L3	CVT60°	(FEP80)	屋内運動場
M4	CET14°	(FEP50)	屋内運動場
-c- (FEP80) x2			

B 既設			
L1	CVT60°	(FEP80)	北校舎 1φ
L4	CVT60°	(FEP50)	ポンプ室 1φ
M1	CVT60°	(FEP80)	空調動力
M2	CVT60°	(FEP80)	北校舎 3φ
M3	CV5. 5° -3C	(FEP50)	北校舎 3φ
M6	FPC60° -3C	(FEP80)	北棟消火P
M8	CET22° E5. 5° x2	(FEP100)	北S-1
-c- (FEP100) x1			
C 既設			
L3	CVT60°	(FEP80)	屋内運動場 1φ
M4	CVT14°	(FEP100)	屋内運動場 3φ
-c- (FEP80) x2			

d ケーブル再用			
L2	CET60° E14°	(FEP80)	南校舎
M9	CE5. 5° -3C E2. 0° x2	(FEP50)	南S-1
M10	CET100°	(FEP80)	給食棟動力
K1	CEE2° -2C	(FEP30)	警報
e ケーブル再用			
M5	CET60°	(FEP80)	職員室
f 新設			
L1	CET60°	(FEP80)	北校舎 1φ
L4	CE8° -3C	(FEP80)	ポンプ室 1φ
M1	CET60°	(FEP80)	空調動力
M2	CET60°	(FEP80)	北校舎 3φ
M3	CE5. 5° -3C	(FEP50)	ポンプ室 3φ
M6	FPC60° -3C	(FEP80)	北棟消火P
M8	CET22° E5. 5° x2	(FEP100)	北S-1
-c- (FEP80) x2			

ハンドホール内幹線ケーブル直線接続（レジン工法）						
L 2	L 3	M 4	M 5	M 9	M 10	K 1

ハンドホール（HHA③）まで接続無し						
L 1	L 4	M 1	M 2	M 3	M 6	M 8

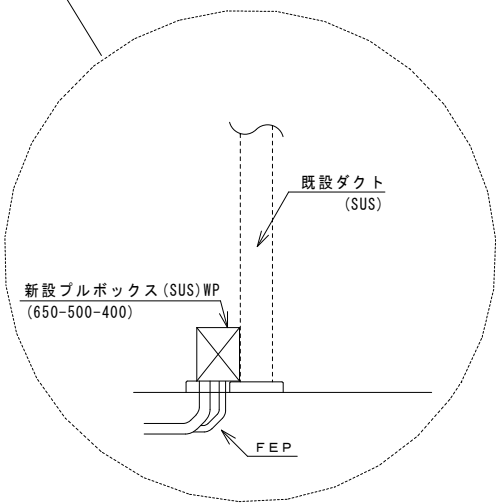
注記

- 掘削埋戻部を示す。
- 地中埋設深さは、GL-600以上とし、GL-300に埋設表示シートを布設する。
- 埋設表示柱は鋳鉄ダクトタイル打込柱とする。

HHA: ハンドホール900x900x900 600φ 破壊荷重80KN以上 完全防水鉄蓋付①

HHB: ハンドホール1200x1200x1200 600φ 破壊荷重80KN以上 完全防水鉄蓋付①・②

※難燃性波付硬質合成樹脂管 (FEP) を使用すること。



2025年 9月	主 務	課 員	施設担当 次長	保育環境整備担当	課 長	保育施設 課 長	保育施設 担当 部長
福山市保健福祉局 ネウボラ推進部保育施設課							

工事名称 福山市立南小学校幹線移設工事		
図面名称 電気設備平面詳細図(改修前・改修後)	縮尺 S=1/100	図番 E-04
原 設 計 株 式 会 社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213		
一級建築士事務所広島県知事登録第 17 (1) 0409号 一級建築士 甲斐 宣行		

注 記

- 児童の移動が集中する時間帯（登下校時等）は重機、資材の搬入を避ける。
- 工事着手前に、仮設計画図、重機搬入設置図など提出物を出し監督員に承認を得て作業を行うこと。
- 設計図書に疑義を生じた場合は速やかに監督員と協議すること。
- 学校及び警備保障会社等の連絡を密にし、学校行事及び工事の進行に影響を及ぼさないように注意すること。
- 停電作業は事前に停電作業計画書を作成し市及び対象校と十分に協議し承認を得て行うこと。
- 切替え停電作業は休日とし、学校と調整をとり仮設電源が必要な場合は給電を施すこと。
- 工事による損傷は受注者の責任において復旧すること。
- 埋設配管は、難燃性FEPとする。

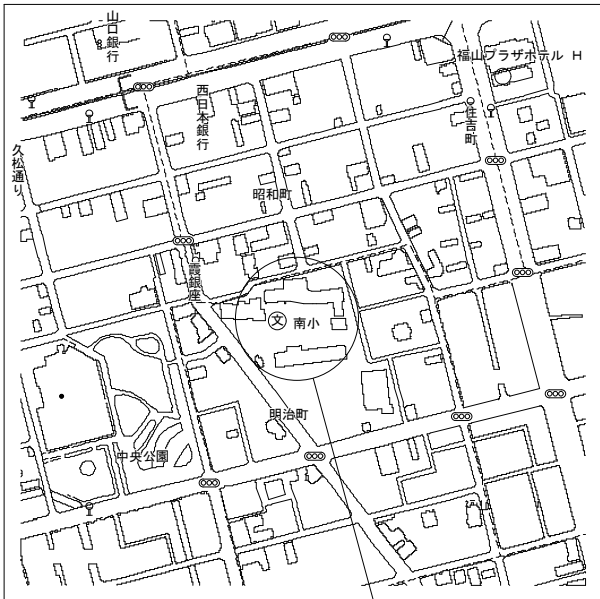
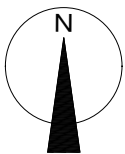
工 事 概 要

- 幹線ルート変更

EM-CETはCETと表示		
Ⓐ	北校舎（電灯1φ）	CET60sq ダクト、ラック FEP80
Ⓐ	南校舎（電灯1φ）	CET60sq E14sq ダクト、ラック FEP80
Ⓐ	屋内運動場（電灯1φ）	CET60sq ダクト、ラック FEP80
Ⓐ	ポンプ室（電灯1φ）	CE8sq-3C ダクト、ラック FEP50
Ⓜ	空調電源（動力3φ）	CET60sq ダクト、ラック FEP80
Ⓜ	北校舎（動力3φ）	CET60sq ダクト、ラック FEP80
Ⓜ	ポンプ室（動力3φ）	CE5.5sq-3C ダクト、ラック FEP50
Ⓜ	屋内運動場（動力3φ）	CET14sq ダクト、ラック FEP50
Ⓜ	職員室（動力3φ）	CET60sq ダクト、ラック FEP80
Ⓜ	北棟消火（動力3φ）	FPC60sq-3C ダクト、ラック FEP80
Ⓜ	北S-1（動力3φ）	CET22sq (E)IE5.5sq x2 ダクト、ラック FEP50
Ⓜ	南S-2（動力3φ）	CE5.5sq-3C (E)IE2sq x2 ダクト、ラック FEP50
Ⓜ	給食棟（動力3φ）	CET100sq ダクト、ラック FEP80
Ⓜ	接地	E.AD 38sq E.B22sq E.ELB 5.5sq
Ⓜ	警報	CEE2sq-2C ダクト、ラック FEP30
Ⓜ	予 備	予備配管 x2 FEP80

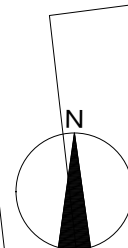
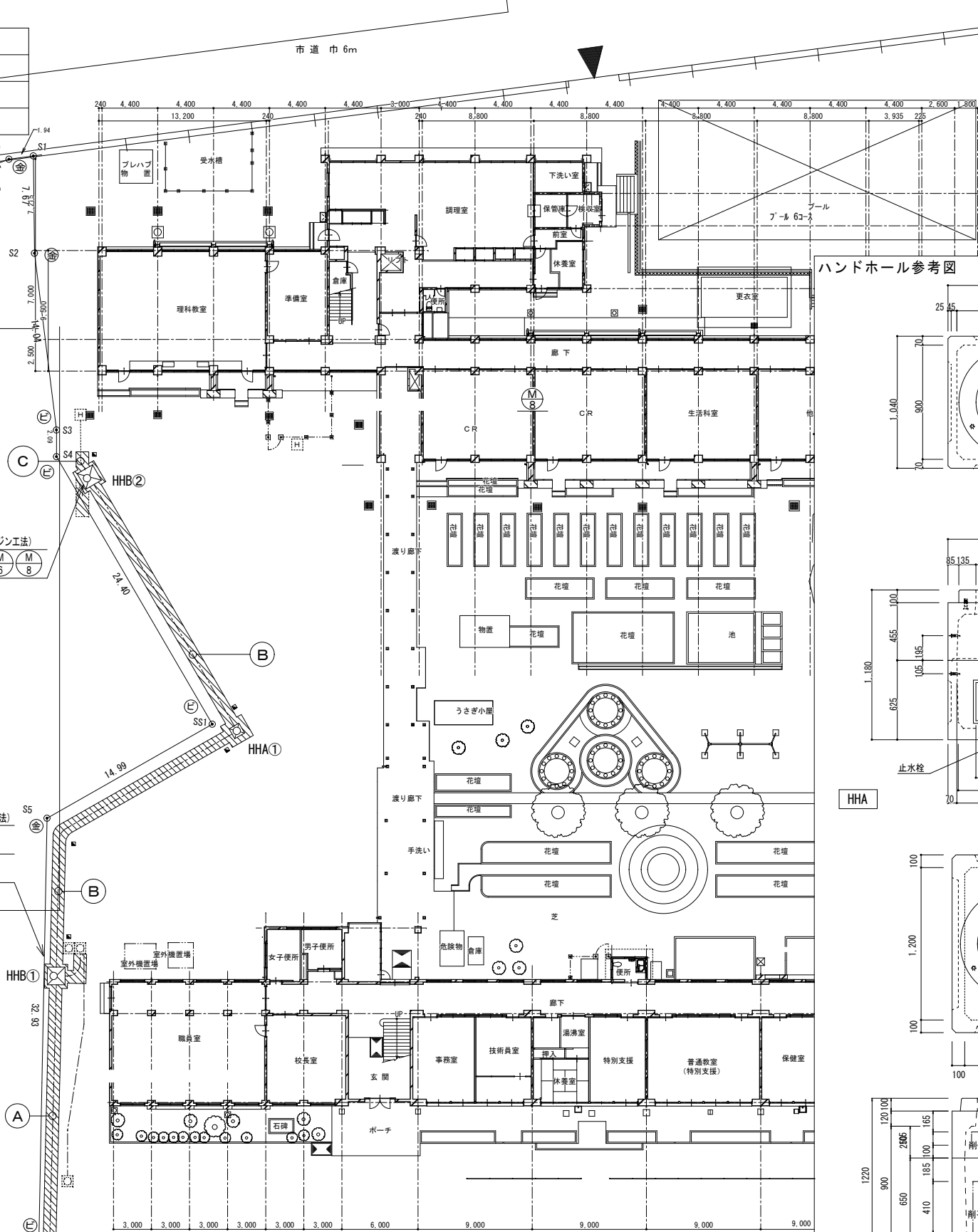
EM-CETはCETと表示		
Ⓐ	北校舎（電灯1φ）	CET60sq FEP80
Ⓐ	ポンプ室（電灯1φ）	CE8sq-3C FEP80
Ⓜ	空調電源（動力3φ）	CET60sq FEP80
Ⓜ	北校舎（動力3φ）	CET60sq FEP80
Ⓜ	ポンプ室（動力3φ）	CE5.5sq-3C FEP50
Ⓜ	北棟消火（動力3φ）	FPC60sq-3C FEP80
Ⓜ	北S-1（動力3φ）	CET22sq (E)IE5.5sq x2 FEP80
Ⓜ	予 備	予備配管 x2 FEP80

既設ケーブル使用		
Ⓐ	北校舎（電灯1φ）	CVT60sq FEP80
Ⓐ	ポンプ室（電灯1φ）	CV8sq-3C FEP50
Ⓜ	空調電源（動力3φ）	CVT60sq FEP80
Ⓜ	北校舎（動力3φ）	CVT60sq FEP80
Ⓜ	ポンプ室（動力3φ）	CV5.5sq-3C FEP50
Ⓜ	北棟消火（動力3φ）	FPC60sq-3C FEP80
Ⓜ	北S-1（動力3φ）	CET22sq (E)IE5.5sq x2 FEP100
Ⓜ	予 備	FEP100



附近見取図

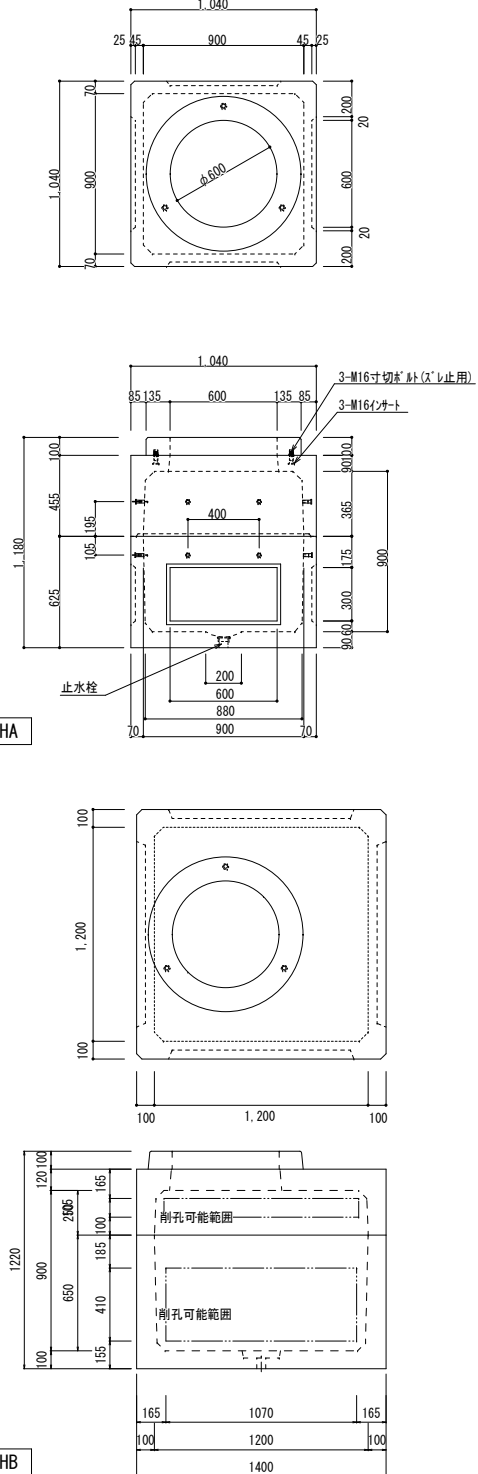
工事場所：福山市立南小学校
福山市明治町4番1号



- 注記
- 埋削埋戻部を示す。
 - 地中埋設深さは、GL-600以上とし、GL-300に埋設表示シートを布設する。
 - 埋設表示柱は錆鉄ダクト打込柱とする。
- HHB：ハンドホール900x900x900 600φ 破壊荷重80KN以上 完全防水鉄蓋付①
HHB：ハンドホール1200x1200x1200 600φ 破壊荷重80KN以上 完全防水鉄蓋付①・②
※難燃性波付硬質合成樹脂管（FEP）を使用すること。

配置図 S=1/300

ハンドホール参考図



工事名称 福山市立南小学校幹線移設工事		
図面名称 付近見取図・配置図（移設後）	縮尺 S=1/300	図番 E-05
原 設 計 株 式 会 社 TEL 084-922-3213		
一級建築士事務所所広島県知事登録第 17 (1) 0409号 一級建築士 甲斐 宣行 第293830号		

参考数量書

§ 工事名称 福山市立南小学校幹線移設工事

§ 工事場所 福山市明治町 4 番 1 号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 （建築工事積算研究会制定）

※ 「公共建築設備数量積算基準・同解説」 （国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

工事場所 福山市明治町4番1号

[illegible]

[illegible]

福山市立南部保育所幹線移設工事 構内幹線						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ケーブル		1	式			別紙 00-0002
CEケーブル 再使用	5.5mm2- 3C FEP内	10	m			
CEケーブル 再使用	8mm2- 3C FEP内	5	m			
CETケーブル 再使用	14mm2 FEP内	5	m			
CETケーブル 再使用	22mm2 FEP内	5	m			
CETケーブル 再使用	60mm2 FEP内	30	m			
FP-Cケーブル 再使用	60mm2 -3C FEP内	5	m			
CETケーブル 再使用	100mm2 FEP内	5	m			
CEEケーブル 再使用	2mm2- 2C FEP内	5	m			
EM-CEケーブル	5.5mm2- 3C ラック	11	m			
EM-CEケーブル	5.5mm2- 3C FEP内 (PF・CD)	100	m			
EM-CEケーブル	8mm2- 3C ラック	11	m			
EM-CEケーブル	8mm2- 3C FEP内 (PF・CD)	74.3	m			
EM-CETケーブル	14mm2 ラック	11	m			
EM-CETケーブル	14mm2 FEP内 (PF・CD)	26	m			
EM-CETケーブル	22mm2 ラック	11	m			
EM-CETケーブル	22mm2 FEP内 (PF・CD)	78.9	m			
EM-CETケーブル	60mm2 ラック	66	m			
EM-CETケーブル	60mm2 FEP内 (PF・CD)	315	m			
EM-CETケーブル	100mm2 ラック	11	m			

福山市立南部保育所幹線移設工事 構内幹線						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ケーブル		1	式			別紙 00-0002
EM-CETケーブル	100mm2 FEP内 (PF・CD)	26	m			
EM-FP-Cケーブル	60mm2- 3C ラック	11	m			
EM-FP-Cケーブル	60mm2- 3C FEP内 (PF・CD)	78.9	m			
EM-CEEケーブル	2mm2- 2C ラック	11	m			
EM-CEEケーブル	2mm2- 2C FEP内 (PF・CD)	26	m			
直線接続材	EM-CEE 2mm2- 2C レジソ工法 92-JA1	1	か所			
直線接続材	EM-CE 5.5mm2- 3C レジソ工法 92-JA1	2	か所			
直線接続材	EM-CE 8mm2- 3C レジソ工法 92-JA1-EM	1	か所			
直線接続材	EM-CET 14mm2 レジソ工法 82-JA1x3	1	か所			
直線接続材	EM-CET 22mm2 レジソ工法 82-JA1x3	1	か所			
直線接続材	EM-CET 60mm2 レジソ工法 82-JA2x3	6	か所			
直線接続材	EM-FP-C 60mm2- 3C レジソ工法 92-JA4-FPEM	1	か所			
直線接続材	EM-CET 100mm2 レジソ工法 82-JA2x3	1	か所			
開閉器結線	結線切替	1	式			
計						

福山市立南部保育所幹線移設工事 構内幹線						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
電線管		1	式			別紙 00-0003
ﾌﾟﾚｯｽｻｲﾅ形 防水(SUS)	650 × 650 × 400	1	個			
波付硬質合成樹脂 管(FEP) 再使用	(30)	3	m			
波付硬質合成樹脂 管(FEP) 再使用	(50)	15	m			
波付硬質合成樹脂 管(FEP) 再使用	(80)	27	m			
波付硬質合成樹脂 管(FEP) 再使用	(100)	3	m			
難燃性波付硬質合 成樹脂管(FEP)	(30)	24	m			
難燃性波付硬質合 成樹脂管(FEP)	(50)	225	m			
難燃性波付硬質合 成樹脂管(FEP)	(80)	550	m			
計						
接地		1	式			別紙 00-0012
接地極 (銅覆鋼棒打込式)	(E)A,D	1	か所			
接地極 (銅覆鋼棒打込式)	(E)B	1	か所			
接地極 (銅覆鋼棒打込式)	(E)ELB	1	か所			
計						

[illegible]

[illegible]

福山市立南部保育所幹線移設工事 構内幹線						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ケーブル撤去		1	式			別紙 00-0007
CEケーブル 撤去	5.5mm2- 3C 再使用しない	125	m			
CEケーブル 撤去	8mm2- 3C 再使用しない	83.3	m			
CETケーブル 撤去	14mm2 再使用しない	42	m			
CETケーブル 撤去	22mm2 再使用しない CET	83.3	m			
CETケーブル 撤去	60mm2 再使用しない	376	m			
CETケーブル 撤去	100mm2 再使用しない	42	m			
FP-Cケーブル 撤去	60mm2- 3C 再使用しない	42	m			
CEEケーブル 撤去	2mm2- 2C 再使用しない	11	m			
CEケーブル 撤去	5.5mm2- 3C 再使用する	10	m			
CEケーブル 撤去	8mm2- 3C 再使用する	5	m			
CETケーブル 撤去	14mm2 再使用する	5	m			
CETケーブル 撤去	22mm2 再使用する	5	m			
CETケーブル 撤去	60mm2 再使用する	30	m			
FP-Cケーブル 撤去	60mm2 -3C 再使用する	5	m			
CETケーブル 撤去	100mm2 再使用する	5	m			
CEEケーブル 撤去	2mm2- 2C 再使用する	5	m			
計						

[illegible]